

「高齢者交通事故多発地域」の指定について

1 指定日

秋の全国交通安全運動の実施期間（9月21日～30日）に合わせて取組を進めることができるよう、令和7年9月1日（月）を指定日とする。

2 高齢者交通事故多発地域の指定

令和7年上半期における、65歳以上の高齢者が関係する交通事故の発生状況に基づき、高齢者が関係する事故が多い、又は全事故に占める高齢者事故の割合が高い次の19地域を指定する。

- | | | | |
|-------|----------|---------|--------|
| ① 港南区 | ② 磯子区 | ③ 横浜市緑区 | ④ 川崎区 |
| ⑤ 中原区 | ⑥ 相模原市緑区 | ⑦ 横須賀市 | ⑧ 小田原市 |
| ⑨ 三浦市 | ⑩ 南足柄市 | ⑪ 寒川町 | ⑫ 大磯町 |
| ⑬ 二宮町 | ⑭ 大井町 | ⑮ 松田町 | ⑯ 箱根町 |
| ⑰ 真鶴町 | ⑱ 湯河原町 | ⑲ 清川村 | |

3 県内の高齢者が関係する交通事故の現状

令和7年上半期の高齢者関係交通事故の死者数は23人で死者数全体の36.5%、さらに、全事故に占める高齢者関係事故は34.6%であり、いずれも高い水準となっていることから高齢者交通事故防止対策が重要課題となっている。

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年 (上半期)
全交通事故発生件数	21,660	21,098	21,870	20,750	9,998
高齢者事故件数	7,248	7,057	7,433	7,118	3,456
全事故に占める割合	33.5%	33.4%	34.0%	34.3%	34.6%
総人口	9,236,337	9,231,177	9,227,901	9,225,091	9,225,091
高齢者人口	2,312,173	2,324,007	2,326,294	2,334,481	2,334,481
高齢化率	25.6%	25.8%	25.8%	25.9%	25.9%
高齢者人口1万人 当たり件数 (上半期平均)	15.1件	14.4件	15.1件	14.6件	14.8件

※ 総人口には年齢不詳を含んでいるが、高齢化率は年齢不詳を除いて算出している。

※ 令和6年及び令和7年（上半期）の総人口は、令和6年1月1日時点で算出

4 指定基準及び該当地域

(1) 指定基準

令和7年上半期中の高齢者が関係する交通事故の発生状況をもとに、次のいずれかの基準に該当した地域を指定する。

- ・指定基準①： 高齢者人口1万人当たり的高齢者が関係する事故の発生件数が、県内平均より30%以上高いこと（県内平均14.8件、県内平均+30%=19.24件）
- ・指定基準②： 全交通事故の発生件数に占める高齢者が関係する事故の割合（構成率）が県内平均より10ポイント以上高いこと（県内平均34.6%、県内平均+10ポイント=44.6%）
- ・指定基準③： 高齢者が関係する事故の死者数が、3人以上の市区町村

(2) 該当地域 計19地域（6区4市8町1村）※三浦市は重複

ア 指定基準①

川崎区、中原区、相模原市緑区、小田原市、三浦市、寒川町、大井町、箱根町

イ 指定基準②

港南区、三浦市、南足柄市、大磯町、二宮町、松田町、真鶴町、湯河原町、清川村

ウ 指定基準③

磯子区、横浜市緑区、横須賀市